

◆ DOGGYM Shake! Dog Dance Competition 規定書 ◆

- ◆ **出場資格**：生後6ヶ月以上の犬。  
発情犬は出場不可。

◆ **開催クラス**：

スタータークラス	競技会への出場が2回未満のペアが対象となるクラス。リード付き可。
ノービスクラス	競技会への出場が2回以上のペアが対象となるクラス。すべてノーリードでの演技。
アドバンスクラス	当競技会のノービスクラスにて累計10ポイント以上を獲得したペアが対象となる。すべてノーリードでの演技。
シニアクラス	犬が10歳以上、またはハンドラーが65歳以上の方が対象のクラス。すべてノーリードでの演技。
グループクラス	2人2頭以上で構成されているグループが対象となるクラス。
プロフェッショナルクラス	プロトレーナーとして活動している方が対象のクラス。すべてノーリードでの演技。 ※今回は採用しません。

- 全クラス、モチベーター（おもちゃ、おやつ等）の使用は可能です。ただし、落とす場合は、必ず拾うなどして、次のペアの妨害とならないように配慮すること。

●クラス昇格制度について

ノービスクラスにて、入賞したペアにはポイントが付与される。

1席 8P    2席 7P    3席 6P    4席 5P    5席 4P

6席 3P    7席 2P    8席 1P

累計10P以上獲得すれば、次回からはアドバンスクラスへの昇格を認める。

参加人数により、入賞者は増減することを、あらかじめご了承ください。

◆ ルーティンタイム

スタータークラス	1分30秒～3分
ノービスクラス	2分～4分
アドバンスクラス	2分～4分
グループクラス	2分～4分
シニアクラス	1分30秒～3分
プロフェッショナルクラス	2分～4分

- ルーティンの時間は最短マイナス10秒、最長プラス10秒までは時間有効とする。
- 審査は犬、またはハンドラーが動き出した瞬間から始まる。
- 余裕の時間を差し引いても短いルーティンは失格とする。

◆ 演技スペース：24m×20m

- 最低使用パーセントは規定しないが、スペースを十分に使って演技を行うほうが高く評価される。

◆ 審査基準

■Presentation & Routine Accuracy (構成)		(Max10)	Total
4	Presentation & Originality 表現力・独自性		
4	Partnership ハンドラーと犬との一体感		
2	Show Quality ショークオリティー		
■Technical Merit (技術)		(Max10)	Total
4	Amount of moves 動作量		
4	Quality and degree of difficulty トリックの完成度&難易度		
2	Use of available ring space 演技スペースの有効性		
■Artistic Interpretation (演出)		(Max10)	Total
4	Interpretation of the music 音楽の解釈		
4	Is the music suited to the dog 音楽が犬に合っているか?		
2	Costume and prop ハンドラーの衣装&小道具		
■Reduce Point (減点) (Barking Max-3)		(Max-3)	

## ●減点について

※噛みつき、吠えなどの行為

※人が犬を不必要に触る、首輪をつかむなどの行為

※演技スペースからの逸脱

## ●失格について

※演技スペースでの排泄行為

※演技時間の50%以上、犬が逸脱した場合

## ◆ 注意事項・禁止事項 ◆

※犬の身体構造から、負担となる動きを過度に採用しないこと。たとえば、身体を捻るジャンプや2足歩行など。

※小道具の使用、及び数の制限はないが、テーマから逸脱しないことと、1分以内に競技者が自分で設置、撤去できる範囲とする。

※犬は洋服や装飾品（首輪、バンダナなど）の着用も構わないが、テーマに添っていること。

※チョークチェーン、スパイクカラー等の使用は不可。

※ハンドラーは衣装着用すること。

※審査結果に関して、競技終了後の異議申し立ては不可。

※競技において、総合点が同じ場合は、**構成点**が高いほうが勝者となる。

※競技終了後、会場にて得点を掲示する。

## 規定の補足

規定されていない事項について、問題が生じた場合、ジャッジ及び競技会事務局の判断で決定します。

2023年1月31日改訂